

# サーフィンについて

サーフィン業組合 : 中村 氏



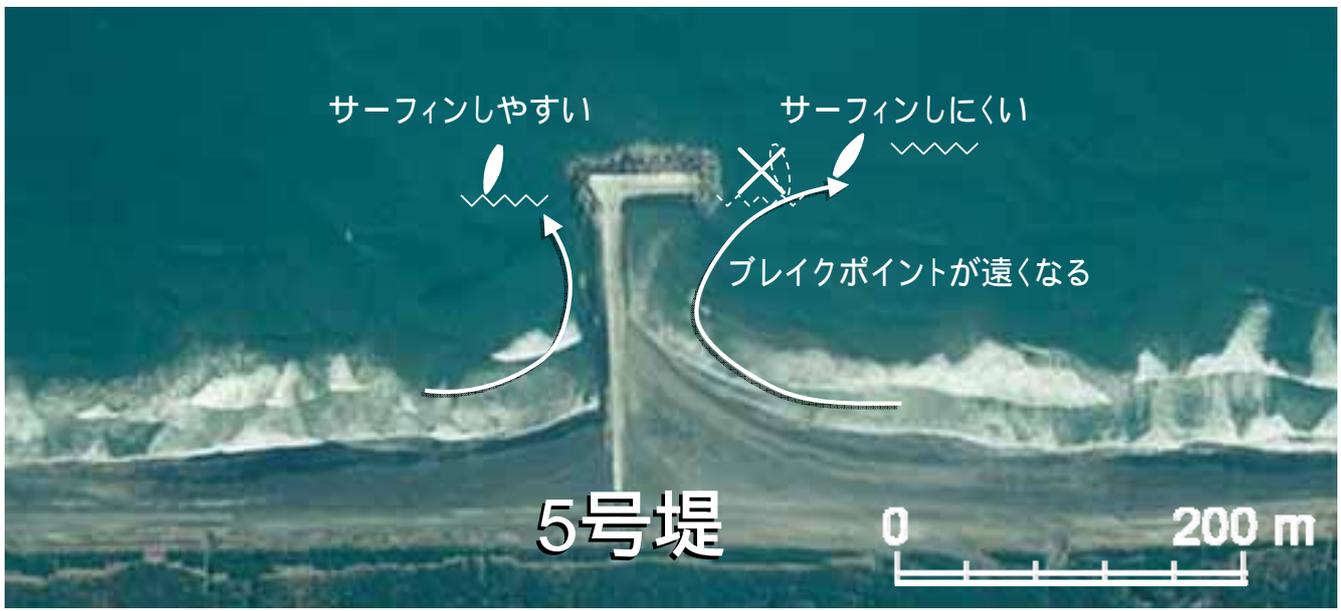
- 1995、1996年に東浪見ポイントで世界大会が開催された。
- 部原海岸でも同様に開催されていたが、部原は大きなうねりが入ってこないと波が立たない。それに比べ、東浪見ポイントはコンスタントに波が立つ。

一宮のサーフポイント



•東浪見から志田下の辺りは、南うねりが太東崎を回り込んで入ってくるため、他のポイントよりもワンサイズ波が高い。

太東崎からのうねり



- 縦堤を入れてからサーフスポットが増えた。サーファーは、沖へ出るために縦堤直近に発生する離岸流を利用する。
- 横堤を建設すると、ブレイクポイントが突堤から離れて遠くなるため、サーフィンしにくくなる。

サーファーが利用する突堤付近の流れ



- 縦堤と横堤との間の流れは、日によって向きが変わり、予測しにくいため危険。知らない人はパニックになってしまい事故につながる。
- 離岸流で沖へ流されてしまう海水浴客(遊泳禁止)もいる。

### 横堤と縦堤の周辺で発生する流れ

- 茨城県では、ヘッドランド周辺を立ち入り禁止にしている。
- 千葉でも同様に立ち入り禁止になることを懸念している。
- 立ち入り禁止になってしまうとサーファーだけでなく、海岸利用者が減ってしまう。

出典:「茨城県土木部河川課」  
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/suinan/suinan.htm>

### ヘッドランド周辺の立入禁止を警告するチラシ(茨城県)